



大人気の体験航海

▼「はやと」甲板をステージに秀岳館雅太鼓を披露



海のこと、もっと知ろう！ 2005みなと八代フェスティバル

10月29日・30日、八代港外港地区で、「2005みなとやつしろフェスティバル」が2年ぶりに開催され、多くの家族連れで賑わいました。

29日の夕方には、総トン数28,856トン、全長192.8mもある豪華客船「飛鳥」の出航セレモニーが行われ、八代白百合高校吹奏楽部が華麗なマーチングを披露。船上の乗客や観衆から盛大な拍手が送られました。

30日は、巧みなテクニックを披露した水上バイクショーや各種クルージング、物産展などがあり、中でも、巡視船「はやと」や多用途支援艦「あまくさ」などでの体験航海は、出航の約2時間前には長蛇の列ができるほどの人気を集めていました。乗船できた人たちは、普段、目にする事のない船内の最新機器などの説明に感心したり、八代海から見る八代市に感動したりと、1時間の航海を思い思いに楽しんでいました。

子どもたちが消防体験 119フェスタ2005

11月5日、八代広域消防本部で「119フェスタ2005」があり、多くの親子連れで賑わいました。これは、「秋季火災予防運動」と「119番の日」の周知とともに消防に対する住民の理解を深めてもらうことを目的に開催されたものです。

ステージでは、八千把保育園や文政保育園の幼年消防クラブの子どもたちのきびきびとした演技に会場から盛大な拍手が送られました。また、放水訓練や救助訓練では、子どもたちが消防士の優しい指導を受けて消防体験を楽しむなど、イベントは盛り上がっていました。



心も体もケアが大事 平成17年度八代市ふれあいフェスタ



▲手話を交えて挨拶をした小川宏さん

10月22日にハーモニーホールで、「八代市ふれあいフェスタ」があり、健康に関心のある人がつめかけました。

講演会では、アナウンサーの小川宏さんが「いきいき人生設計 うつ病を乗り越えて」との演題で、ユーモアを交えて体験談を話し、会場から盛大な拍手が送られました。

丹精こめた菊づくり 千丁町「菊花展」

11月5～7日、いぐさの里公園で千丁町菊花展がありました。これは、公民館教室「菊作り講座」の集大成として毎年行われ、今年は約150点もの作品が展示されました。丹精込めた可憐な菊に、道行く人も、しばし足を止め、見入っていました。



イ草でまちおこし 第24回せんちょうい草の里まつり



量を投げて力自慢！

10月16日、千丁町で「第24回せんちょうい草の里まつり」が行われ、たくさんの来客に会場は大賑わいでした。

240人限定の上敷き表の無料配布には、朝早くから長い行列ができ好評でした。また、恒例の畳投げでは、力自慢の男女が集まり、日ごろのうっぶんを晴らすかのような好投が続きました。

立派なしょうがに驚きの連続 第31回しょうが祭



祭りを盛り上げたしょうがみこし▶

歌謡ステージで熱唱する瀬川瑛子さん



10月23日、東陽町種山小学校グラウンドで第31回しょうが祭が開催され、早朝から新鮮な野菜や葉付のしょうがを買い求める人で、会場は祭り一色となりました。

また、メインゲストに瀬川瑛子さんを迎え、歌とトークに会場からは笑いと拍手が絶えませんでした。

足並みそろえて目指せ全国制覇！ 八代小6年2組、30人31脚全国大会出場

10月30日、30人31脚全国大会予選が、アクアドーム熊本（熊本市）で行われ、八代小6年2組が初出場にして、みごと優勝し、全国大会への切符を手に入れました。この競技は、二人三脚のように30人以上が連なって50mをどれだけ早く走るのかを競うものです。

5月ごろ、担任の園田泰男先生が「クラスで一生の思い出を何か作りたい」との考えがきっかけとなって、この大会へ出場を決めたとのこと。その日から、先生と生徒の二人三脚ならぬ「30人31脚」の練習は、昼休みや放課後、夏休みも返上して行われました。試合当日、0.03秒差で大逆転し、全国大会への出場を勝ち取りました。

全国大会への挑戦について、キャプテンの宮崎翔世くんは「目標は全国制覇！」と、クラス全員の決意を力強く話しました。

活躍の様子は、12/4、12/10、1/1にKABで放送予定です。

10周年は、お笑いで 名人寄席 歌丸・歌之介落語会



▶ 桂歌丸さん



▶ 三遊亭歌之介さん

11月6日、千丁文化センターで名人寄席 歌丸・歌之介落語会がありました。これは同センター開館10周年を記念し、行われたものです。

三遊亭ぬう生さん、三遊亭歌之介さん、桂花丸さん、桂歌丸さんが落語を披露。軽妙で滑稽な名人たち囃に、満員の会場は終始笑いの渦でした。